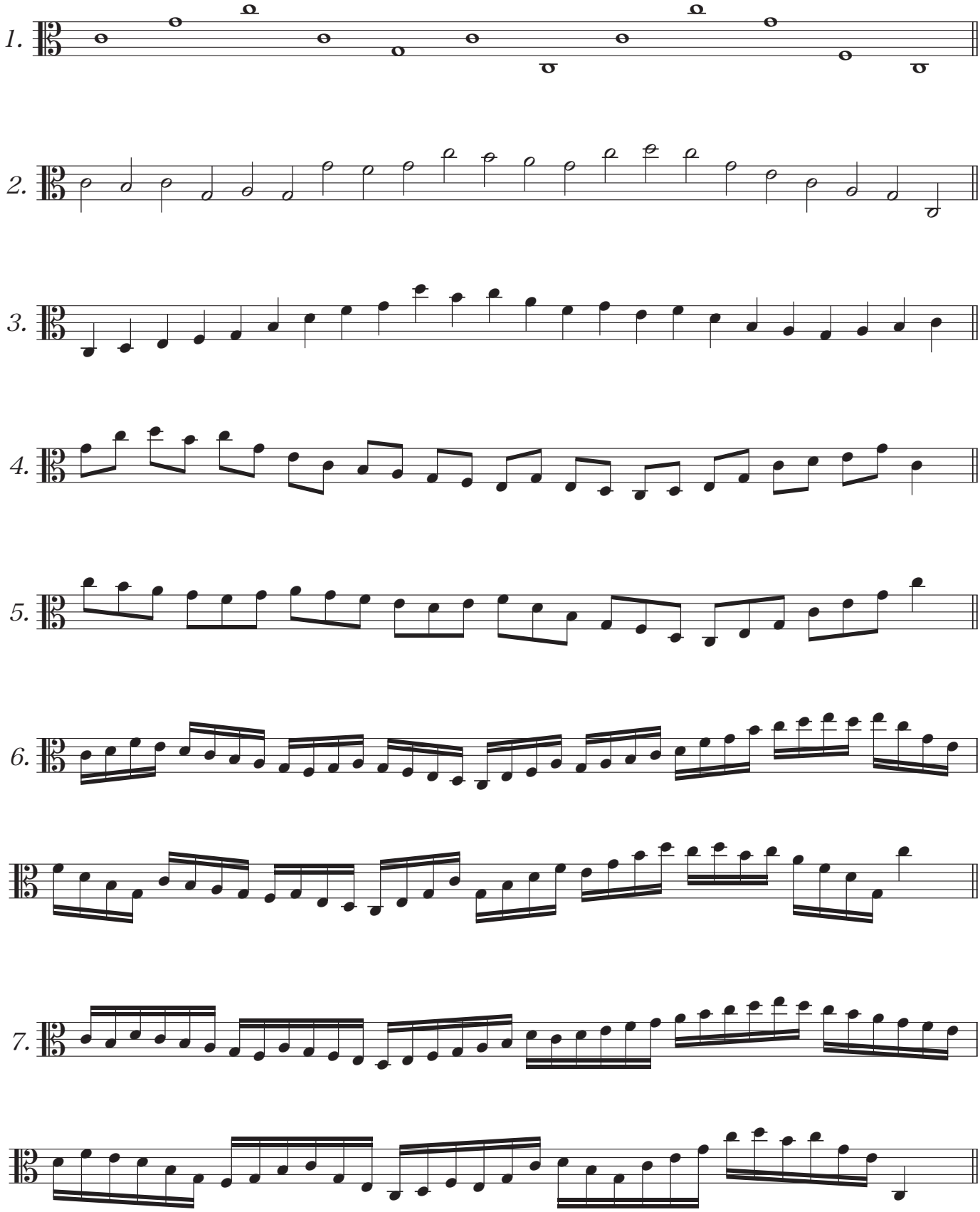
【クレ読み課題】③ アルト譜表

1. 楽譜にはト音記号、ヘ音記号、ハ音記号の３種類の音部記号（クレ）があり、それらが五線のどの位置に記されているかによって、音高と用途が異なる７つ（高音部、低音部、ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス）の譜表が存在します。
2. 「**クレ読み**」は、読譜力の向上のために、一定のテンポを設定し速度を維持しながら音程を付けずに音名を読む練習です。
3. 今回は、ハ音記号の譜表である「**アルト譜表**」の練習です。主にヴィオラ・パートが用いることで知られる譜表です。



©2023 eqhor music labo Tokyo